

## 4 環境行政年表

昭和30年7月1日

白山が国定公園に指定される

昭和34年6月1日

航空自衛隊小松基地隊発足

昭和37年11月12日

白山国定公園が国立公園に昇格、景観地保護事業に着手

昭和38年7月10日

石川県立自然公園条例施行

昭和39年7月

公害対策協議会発足

昭和42年10月1日

山中・大日山、獅子吼・手取の県立自然公園を指定

昭和43年5月1日

能登半島国定公園、越前加賀海岸国定公園が指定される

昭和44年4月1日

厚生部環境衛生課に公害係（3名）設置

昭和44年4月1日

石川県公害防止条例を施行、石川県公害対策審議会を発足

昭和44年6月10日

公害対策審議会委員30名を任命、18日初会合

昭和45年3月23日

石川県公害防止条例施行規則を施行

昭和45年4月1日

厚生部に公害対策室（6名）設置

昭和45年4月1日

騒音規制地域を指定（金沢市）

昭和45年4月1日

公害防止施設整備資金融資制度を創設

昭和45年6月1日

碓石ヶ峰県立自然公園を指定

昭和45年8月17日

石川県公害対策本部を設置

昭和45年9月1日

公害対策室を公害課（12名）に昇格

昭和45年9月1日

衛生研究所の生活環境科（6名）を公害部（13名）に昇格

昭和45年9月10日

金沢大学等による梯川流域住民の精密検診の結果を発表（カドミウムによる中毒症状及びイタイイタイ病の疑いのある者は認められず）

昭和45年11月1日

石川県公害紛争処理等に関する条例及び同施行規則を施行

昭和45年12月

衛生研究所を金沢市三馬に新築移転

昭和46年3月20日

石川県公害防止条例を一部改正（経済発展との調和条項の削除等）

昭和46年4月1日

厚生部内に公害局（28名）を設置、企画調整課（12名）、規制指導課（15名）の2課で発足

昭和46年7月7日

石川県公害防止条例を一部改正（水質審議会を規定）

昭和46年10月1日

石川県自然保護条例を施行

昭和46年10月15日

公害局を公害環境部（41名）に昇格し、環境整備課（環境保全、廃棄物）を設置

昭和46年10月15日

衛生研究所を衛生公害研究所に改称

昭和47年3月31日

北陸鋳山（株）鋳業権放棄

昭和47年4月1日

水質環境基準の類型指定（犀川、浅野川）

昭和47年9月8日

公害環境モニター制度発足

昭和47年9月27日

日本鋳業（株）に対し鋳害防止措置命令

昭和47年10月1日

上乘せ排水基準条例（水質汚濁防止法第3条第3項の規定による排水基準を定める条例）を施行（犀川、浅野川）

昭和47年10月17日

北陸鋳山（株）に対し鋳害防止措置命令

昭和48年3月30日

水質環境基準の類型指定（大野川、大聖寺川）

昭和48年5月1日  
騒音規制地域を指定（金沢市、七尾市、野々市町、内灘町）

昭和48年5月1日  
悪臭規制地域を指定（金沢市）

昭和48年7月1日  
白山自然保護センター開館

昭和48年7月5日  
環境整備課を環境保全課に改称

昭和48年7月6日  
排水基準を定める条例の一部改正（大野川、大聖寺川を追加）

昭和48年7月6日  
自然環境保全審議会設置

昭和48年9月1日  
白山一里野県立自然公園を指定

昭和48年10月1日  
尾小屋鉦山鉦害防止事業（鉦害防止義務者不存在のもの）着手

昭和48年10月6日  
石川県自然環境保護条例を施行、石川県自然保護条例を廃止

昭和48年11月5日  
梯川流域汚染防止対策室を設置

昭和48年12月17日  
大気監視センター発足

昭和49年3月25日  
梯川流域の農用地土壌汚染細密調査開始

昭和49年3月30日  
水質環境基準の類型指定（梯川、新堀川、御祓川、河原田川）

昭和49年4月12日  
石川県産業廃棄物処理計画を策定

昭和49年7月19日  
排水基準を定める条例の一部改正（梯川、新堀川、御祓川を追加）

昭和49年9月27日  
石川県大気汚染緊急時対策要綱を施行

昭和49年10月22日  
石川県自然環境保全基本方針を定める

昭和50年1月1日  
石川県公害防止条例を一部改正（地下水採取

規制を追加）

昭和50年3月28日  
水質環境基準の類型指定（手取川、七尾湾）

昭和50年3月31日  
農用地土壌汚染対策地域（小松市梯川流域）を指定

昭和50年4月1日  
石川県公害紛争処理等に関する条例を一部改正（公害審査会に関する規定を追加）

昭和50年5月1日  
騒音規制地域を指定（小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、松任市、根上町、寺井町、津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町、志賀町）

昭和50年5月1日  
悪臭規制地域を指定（七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、松任市、根上町、寺井町）

昭和50年7月8日  
排水基準を定める条例の一部改正（手取川、七尾湾を追加）

昭和50年9月16日  
小松、加賀両市の住民12名、「ファントム等ジェット戦闘機騒音差し止め請求訴訟」提訴

昭和50年10月4日  
小松基地周辺の騒音対策に関する基本協定（10・4協定）締結

昭和51年2月1日  
石川県公害防止条例施行規則を一部改正（地盤沈下地域指定）

昭和51年3月30日  
水質環境基準の類型指定（羽咋川、若山川）

昭和51年4月1日  
公害環境部を環境部と改称

昭和51年4月1日  
大気監視センターを衛生公害研究所に吸収

昭和51年4月9日  
農用地土壌汚染対策地域を追加指定

昭和51年4月26日  
小松基地騒音防止対策協議会発足

昭和51年5月1日  
騒音規制地域を指定（山中町、辰口町、川北町、美川町、鶴来町、志雄町、押水町、鹿島

町、鹿西町、鳥屋町、田鶴浜町、中島町、能登島町)  
昭和51年5月1日  
悪臭規制地域を指定(内灘町、野々市町、美川町、鶴来町)  
昭和51年5月1日  
国、県、関係市町村の三者共同による小松基地周辺の騒音常時測定開始  
昭和51年7月6日  
排水基準を定める条例の一部改正(加賀沿岸海域を追加)  
昭和51年10月8日  
県自然環境保全地域を指定(杉ノ水、打呂、菊水)  
  
昭和52年4月1日  
石川県し尿浄化槽指導要綱を施行  
昭和52年4月15日  
水質環境基準の類型指定(町野川、米町川、河北潟、河北沿岸海域、能登半島沿岸海域)  
昭和52年5月1日  
騒音規制地域を指定(富来町、穴水町、門前町、能都町、柳田村、内浦町)  
昭和52年5月1日  
悪臭規制地域を指定(津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町)  
昭和52年6月10日  
排水基準を定める条例の一部改正(河北潟、河北沿岸海域を追加)  
昭和52年6月27日  
梯川流域地域農用地土壌汚染対策計画策定  
昭和52年7月25日  
梯川流域の農用地土壌汚染対策事業に係る費用負担計画策定  
昭和53年3月31日  
県自然環境保全地域を指定(犀川源流、唐島、観音下)  
昭和53年3月31日  
水質環境基準の類型指定(金沢沿岸海域)  
昭和53年3月31日  
梯川流域汚染防止対策室を廃止  
  
昭和53年5月1日  
振動規制地域を指定(金沢市、七尾市、小松

市、加賀市)  
昭和53年7月7日  
排水基準を定める条例の一部改正(金沢沿岸海域を追加)  
昭和53年10月12日  
農用地土壌汚染対策地域を追加指定  
昭和53年12月28日  
防衛施設庁は小松基地周辺について住宅防音工事助成区域である第一種区域(85WECPNL)を指定告示  
昭和54年2月13日  
石川県環境管理基本計画の公表  
  
昭和54年5月1日  
振動規制地域を指定(羽咋市、山中町、根上町、寺井町、辰口町、川北町、美川町、鶴来町、野々市町)  
昭和54年6月20日  
梯川流域農用地土壌汚染対策計画を変更  
昭和54年7月5日  
梯川流域の農用地土壌汚染対策事業に係る費用負担計画を変更  
昭和54年7月6日  
排水基準を定める条例の一部改正(旅館業等の施設を追加)  
昭和54年7月7日  
金沢市内に光化学スモッグ注意報が、小松市内に同予報が初めて発令  
昭和54年12月15日  
梯川流域2号対策地域等の産米調査結果を発表(1ppmを超える高濃度のカドミウムを検出)  
昭和55年2月27日  
梯川流域汚染防止対策室を設置  
  
昭和55年4月1日  
企画調整課を環境調整課に、規制指導課を公害規制課に、環境保全課を自然保護課に各々改称  
昭和55年5月1日  
振動規制地域を指定(津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町、内灘町、志賀町、志雄町、押水町、鳥屋町、鹿島町、鹿西町)  
昭和55年5月11日

県白山自然保護センターでは、天然記念物イヌワシの営巣を吉野谷村地内で発見し、幼鳥の巣立ちまでの約20日間の観察に成功

昭和55年7月4日

梯川流域の農用地土壌汚染見直し細密調査開始

昭和55年7月11日

北陸電力（株）が尾口村の尾添発電所建設計画に係る環境影響調査書を県に提示（5月9日）、県自然環境保全審議会は、この建設計画の環境保全に対する基本的な考え方が妥当である旨答申（電調審通過：7月30日）

昭和55年9月10日

防衛施設庁、小松基地に関し第一種区域（80WECPNL）の追加指定告示

昭和55年9月21日～10月21日

県では「美しい県土を守る運動推進月間」を設定し、重点目標として、空き缶等散在性廃棄物に対する啓発、し尿浄化槽の適正な維持管理の徹底、有リン合成洗剤の使用自粛の呼びかけを実施

昭和55年10月28日

鈴ヶ岳自然環境保全地域を指定

昭和55年12月15日

（社）石川県浄化槽協会（厚生大臣指定検査機関）、公共機関及び51人槽以上の浄化槽を対象に定期検査業務を開始

昭和56年4月1日

夕日寺健民自然園を開園

昭和56年4月16日

農用地土壌汚染対策地域を追加指定

昭和56年4月24日

振動規制地域を指定（輪島市、珠洲市、松任市、富来町、田鶴浜町、中島町、能登島町、穴水町、門前町、能都町、柳田村、内浦町）

昭和56年5月1日

悪臭規制地域を指定（富来町、志雄町、志賀町、押水町）

昭和56年7月3日

排水基準を定める条例の一部改正（病院、一般廃棄物処理施設を追加）

昭和56年12月1日

石川県公害防止条例を一部改正（深夜営業騒

音等の規制）

昭和56年12月8日

ブナオ山観察舎が開館

昭和57年3月18日

農用地土壌汚染対策地域を追加指定

昭和57年4月1日

環境調整課と公害規制課を統合し、環境管理課が発足

昭和57年4月6日

悪臭規制地域を指定（田鶴浜町、鳥屋町、中島町、鹿島町、能登島町、鹿西町）

昭和57年6月10日

北陸電力（株）が七尾大田火力発電所建設計画に係る環境影響調査書を石川県など関係機関に提出（2月18日）、県は県公害対策審議会に対し、同発電所の環境保全対策について諮問（3月25日）、県公害対策審議会は概ね妥当なものとして認められる旨答申（電調審通過：7月9日）

昭和57年6月27日

防衛施設庁は小松基地に関し第一種区域（75WECPNL）の追加指定告示

昭和58年2月8日

県、北陸電力（株）及び日本海液化ガス（株）との間で、七尾大田火力発電所等に係る公害等の防止に関する基本協定及び細目協定締結

昭和58年2月24日

日本鉄道建設公団が北陸新幹線環境影響評価報告書案を県に提示（57年12月6日）、県は県公害対策審議会に対し同新幹線に係る環境保全対策について諮問（1月25日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものとして認められる旨答申（2月22日）、同報告書案に関する知事意見書を日本鉄道建設公団に提出

昭和58年3月4日

小松、加賀両市と根上、寺井両町の住民318名、「ファントム戦闘機離陸等差し止め等請求訴訟」第二次訴訟提訴

昭和58年3月10日

農用地土壌汚染対策地域追加指定、一部指定解除

昭和58年5月1日

悪臭規制地域を指定（輪島市、穴水町）

昭和58年5月7日 金沢市普正寺町に石川県野鳥園開園	農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除
昭和58年7月2日 石川郡吉野谷村木滑に白山自然保護センター 新庁舎開館	昭和60年5月1日 悪臭規制地域を指定（山中町、辰口町、川北 町、内浦町）
昭和58年7月12日 排水基準を定める条例の一部改正（羽咋川、 米町川、河原田川を追加）	昭和60年5月1日 騒音・振動指定地域の一部改正（寺井町）
昭和58年9月21日、22日 第4回快適環境シンポジウムを金沢市文化ホ ールで開催（環境庁、石川県、金沢市、（財） 日本環境協会の共催）	昭和60年10月1日 石川県浄化槽保守点検業者の登録に関する条 例を施行
昭和58年11月23日 夕日寺県民自然公園に化石の広場開設	昭和60年10月1日 石川県浄化槽保守点検業者の登録に関する条 例施行規制を施行
昭和58年12月1日 スパイクタイヤ使用自粛推進要綱を制定し、 同日より施行	昭和60年10月1日 排水基準を定める条例の一部改正（町野川、 若山川、能登半島沿岸海域を追加）
昭和59年1月14日 梯川流域地域農用地土壌汚染対策計画を変更	昭和60年10月16日 昭和60年度「くらしの中の水」シンポジウム を金沢市で開催
昭和59年1月21日 梯川流域に農用地土壌汚染対策事業に係る費 用負担計画を変更	昭和60年12月13日 石川県公害紛争処理等に関する条例の一部を 改正（規定の整理）
昭和59年3月14日 農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除	昭和61年1月12日 石川県公害防止条例の一部を改正（水質審議 会を公害対策審議会に統合）
昭和59年4月2日 傷病鳥救護事業の開始	昭和61年1月12日 石川県公害対策審議会規則の一部を改正
昭和59年5月1日 悪臭規制地域を指定（珠洲市、能都町）	昭和61年3月27日 農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除
昭和59年7月3日 石川県公害紛争処理等に関する条例の一部を 改正（申請手数料の引き上げ）	昭和61年5月1日 悪臭規制地域を指定（門前町、柳田村）
昭和59年10月5日 白山室堂に白山荘完成	昭和61年5月1日 騒音・振動指定地域の一部改正（小松市、松 任市、根上町）
昭和59年12月7日 尾小屋鉱山鉱害防止事業（鉱害防止義務者不 存在のもの）完了	昭和61年5月21日 「小松基地周辺の生活環境保全対策」と財政 措置の強化に関する要望書、国へ提出
昭和59年12月20日 防衛施設庁は小松基地に関し、第1種区域等 の変更指定告示	昭和61年7月12日 白山国立公園市ノ瀬野営場開場
昭和60年2月15日 石川県公害防止条例施行規則を一部改正（騒 音の決定方法）	昭和61年10月23日 昭和61年度「くらしの中の水」シンポジウム を七尾市で開催
昭和60年3月8日	昭和61年11月19日

北陸電力（株）が能登原子力発電所（1号機）建設計画に係る環境影響調査書を提出（6月16日） 県は県公害対策審議会に対し、同発電所の環境保全対策について諮問（7月21日） 県公害対策審議会は安全確保対策についての意見具申書を添付し、概ね妥当である旨答申（電調審通過12月18日）

昭和62年1月4日

河北潟野鳥観察舎が開館

昭和62年3月23日

農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除

昭和62年3月31日

全窒素、全燐に係る水質環境基準の類型指定（河北潟）

昭和62年5月1日

悪臭規制地域・規制基準の一部改正（金沢市、野々市町、内灘町）

昭和62年5月1日

騒音・振動指定地域の一部改正（金沢市、野々市町、内灘町、津幡町）

昭和62年7月1日

排水基準を定める条例の一部改正（冷凍調理食品製造業、地方卸売市場等の施設を追加）

昭和62年7月10日

北陸電力（株）が七尾大田火力発電所の建設計画の変更及び環境調査の実施を石川県など関係機関へ申し入れ

昭和62年7月18日

白山国立公園指定25周年記念事業としてシンボルマーク制定

昭和62年8月8日

加賀禅定道を復元し、一般供用開始

昭和62年9月29日

第10回リモートセンシングシンポジウムを金沢市で開催（科学技術庁、宇宙開発事業団、（社）経済団体連合会、（財）リモートセンシング技術センター、石川県の共催）

昭和62年10月23日

昭和62年度「暮らしの中の水」シンポジウムを加賀市で開催

昭和62年10月27日

第3回日仏アメニティ会議の地方会議を金沢市で開催

昭和62年11月17日

第6回道路粉じん問題行政連絡会議を金沢市で開催

昭和62年11月21日

能登原子力発電所建設準備工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結

昭和62年11月25日

北陸電力（株）が能登原子力発電所の準備工事に着手

昭和62年12月15日

日本鉄道建設公団が北陸新幹線環境影響評価報告書案を提示（10月7日） 県は県公害対策審議会に対し同新幹線に係る環境保全対策について諮問（10月27日） 県公害対策審議会は概ね妥当なものと認められる旨答申（12月14日） 同報告書案に関する知事意見書を日本鉄道建設公団に提出

昭和63年1月10日

県民海浜公園野鳥の森開設

昭和63年3月25日

農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除

昭和63年3月29日

全窒素、全燐に係る水質環境基準の類型指定（柴山潟、北潟湖）

昭和63年4月1日

騒音に係る環境基準の類型指定（金沢市、野々市町、内灘町）

昭和63年5月1日

騒音・振動指定地域の一部改正（羽咋市）

昭和63年7月10日

石川県環境美化県民大会を内浦町で開催

昭和63年7月23日、24日

第30回 自然公園大会を内浦町で開催

昭和63年11月27日

県は公害対策審議会に対し、志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書案について説明、県公害対策審議会は運用に当たっての意見を添付し、妥当なものと建議

昭和63年12月1日

志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書（以下「安全協定」という。）

を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結

昭和63年12月1日

志賀原子力発電所建設工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結。北陸電力（株）が志賀原子力発電所の建設工事に着工

平成元年3月31日

梯川流域汚染防止対策室を廃止

平成元年4月1日

原子力安全対策室を設置

平成元年4月9日

夕日寺健民自然園ふれあいセンターが開館

平成元年7月15日

ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱の施行

平成元年7月21日

加賀禅定道、奥長倉に避難小屋完成

平成元年8月20日

自然に親しむつどいを白峰村で開催

平成元年9月29日、30日

「環日本海域における酸性雨・雪」シンポジウムを金沢市で開催（文部省国際学術研究班主催、石川県環境部協賛）

平成元年10月1日

水質汚濁防止法改正（地下水汚染の未然防止）

平成元年11月24日

志賀原子力発電所の建設工事に日本工業規格不適合の建設資材が使用された件について、県、志賀町及び富来町が安全協定に基づく立入調査を実施

平成元年11月30日

つるぎ国民休養ビジターセンターが、獅子吼高原（鶴来町）レストハウス内に完成

平成2年2月1日

石川県土地対策指導要綱の一部改正に伴い石川県ゴルフ場環境影響調査実施要領を施行

平成2年2月16日

石川県原子力環境安全管理協議会を設置同協議会に石川県環境放射線測定技術委員会及び石川県温排水影響検討委員会を設置

平成2年4月1日

志賀町監視センター開設

平成2年4月28日、29日

第3回巨木を語ろう全国フォーラムを加賀市で開催

平成2年5月12日、13日

第44回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」を金沢市で開催

平成2年5月31日

北陸電力（株）が七尾大田火力発電所（1号機）一部計画変更に伴う環境影響調査書を石川県など関係機関に提出（平成元年12月6日）、県は県公害対策審議会に対し同発電所の環境保全対策について諮問（平成2年2月2日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認める旨答申（電調審通過：7月23日）

平成2年7月1日

いしかわかんきょうフェアを開催

平成2年7月1日

志賀原子力発電所周辺の環境放射線監視及び温排水影響調査を開始

平成2年8月1日

ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱の改正・施行

平成2年8月5日

第2回自然に親しむつどいを羽咋市で開催

平成2年9月30日

酸性雨・雪セミナー「酸性雨・雪問題を理解するために」を金沢市で開催（文部省国際学術研究班主催、石川県環境部共催）

平成2年10月1日、2日

第2回国際学術研究公開シンポジウム「環日本海における酸性雨・雪」を金沢市で開催（文部省国際学術研究平井班主催、石川県環境部後援）

平成2年10月30日

第1回全国酸性雨調査研究連絡会議を金沢市で開催

平成2年10月31日～11月2日

第31回大気汚染学会を金沢市で開催（主催（社）大気汚染研究協会、石川県、金沢市）

平成2年12月18日

七尾大田火力発電所周辺の環境の保全に関する協定書を、県、七尾市及び北陸電力（株）との間で締結

平成3年3月13日

小松基地騒音差止等請求事件判決が言い渡される

平成3年5月31日、6月6日

北陸電力（株）が志賀原子力発電所の初装荷燃料搬入

平成3年7月1日

いしかわ・かんきょうフェアを開催

平成3年8月25日

第3回自然に親しむつどいを小松市で開催

平成3年11月27日

エコビジネス懇話会を設置

平成3年12月1日

環境政策室を設置

平成4年2月28日

北陸電力（株）が安全協定に基づき「原子炉施設の一部変更（高燃焼度燃料の採用）」についての協議書を提出（3年7月12日）、県は通商産業省の安全審査結果及び原子力環境安全管理協議会の結論（4年2月18日）を踏まえ、北陸電力（株）に対し、本件について了承する旨回答

平成4年6月9日

原子力防災訓練を実施

平成4年5月10日

国設白山鳥獣保護区管理センター開所式

平成4年6月29日

日本鉄道建設公団が、北陸新幹線の計画路線の一部変更（富山県境～金沢駅）に伴い、環境影響評価報告書案を県に提示（平成4年4月30日）、県は公害対策審議会に対し、同新幹線に係る環境保全対策について諮問（5月22日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認められる旨答申（6月24日）、県は同報告書案に関する知事意見書を日本鉄道建設公団に提出

平成4年7月4日、5日

いしかわ・かんきょうフェアを開催

平成4年7月10日

中宮温泉集団施設地区野営場がオープン

平成4年7月23日

白山国立公園指定30周年記念講演会を開催

平成4年8月23日

第4回自然に親しむつどいを珠洲市で開催

平成4年10月9日

地球サミットセミナーINいしかわを金沢市で開催

平成4年11月2日

北陸電力（株）が志賀原子力発電所の試運転開始（原子炉への燃料装荷）

平成4年12月16日

のと海洋ふれあいセンター建設工事起工式

平成5年3月31日

環境政策室を廃止

平成5年4月1日

環境部に環境政策課、環境整備課を設置

平成5年5月11日

木場潟流域を水質汚濁防止法による生活排水対策重点地域に指定

平成5年6月10日

片野鴨池がラムサール条約による登録湿地として登録

平成5年7月16日

上乘せ排水基準を定める条例を一部改正（共同調理場のちゅう房施設等を規制対象に追加）

平成5年7月30日

北陸電力（株）が志賀原子力発電所の営業運転開始

平成5年8月22日

第5回自然に親しむつどいを金沢市で開催

平成5年9月27日

「いしかわの自然百景」の選定

平成5年10月9日、10日

いしかわ・かんきょうフェアを開催

平成5年11月1日

片野鴨池を国設鳥獣保護区に設定

平成5年11月5日

石川県廃棄物適正処理指導要綱を公布

平成6年3月10日

夕日寺健民自然園にトンボサンクチュアリー完成

平成6年3月

「いしかわクリーン・リサイクル推進計画」策定



- 平成6年4月19日  
のと海洋ふれあいセンター開館
- 平成6年5月20日  
北陸電力（株）が七尾大田火力発電所（2号機）環境影響調査書を提出（5年12月9日）、県は県公害対策審議会に対し同発電所の環境保全対策について諮問（6年2月18日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認める旨答申（電調審通過：7月15日）
- 平成6年7月1日  
片野鴨池健民自然園開設
- 平成6年7月6日  
原子力防災訓練を実施
- 平成6年7月11日  
産業廃棄物不法処理連絡協議会発足
- 平成6年8月20日、21日  
いしかわ・かんきょうフェアを開催
- 平成6年8月21日  
第6回自然に親しむつどいを内浦町で開催
- 平成6年8月26日  
志賀原子力発電所1号機で原子炉冷却材再循環ポンプ（B）トリップに伴い、原子炉を手動停止したトラブルが発生、北陸電力（株）では、その後原因を特定し、復旧及び再発防止策工事を実施した後、9月8日から運転を再開
- 平成6年9月1日  
石川県環境審議会発足
- 平成6年9月12日  
中央環境審議会企画政策部会北陸ブロックヒアリング開催
- 平成6年9月26日  
環境行政のあり方懇談会発足
- 平成6年10月1日  
廃棄物処理センター設立準備室を設置
- 平成6年12月1日  
七尾大田火力発電所の運転に係る環境の保全に関する細目協定書を改定
- 平成7年3月14日  
七尾南湾流域、河北潟流域、柴山潟流域を生活排水対策重点地域に指定
- 平成7年3月17日  
七尾大田火力発電所1号機運転開始
- 平成7年7月1日  
石川県環境影響評価技術審査会設置
- 平成7年7月1日  
木ノ浦野営場のオープン
- 平成7年8月20日  
第7回自然に親しむつどいを山中町で開催
- 平成7年9月28日  
「白山緑のダイヤモンド計画推進事業」の整備に着手
- 平成7年10月1日  
「石川県環境影響評価要綱」施行
- 平成7年10月6日  
「石川県環境基本条例」公布、施行
- 平成7年10月21日、22日  
いしかわ・かんきょうフェアを開催
- 平成7年11月27日  
北陸電力（株）が志賀原子力発電所2号機建設に係る環境影響評価準備書を提出及び安全協定に基づき安全確保及び環境保全対策の協議申し入れ県環境影響評価技術審査会で準備書の内容を審査し、概ね妥当であるとの意見をいただく（平成9年1月22日）。技術審査会の意見と関係市町長意見を踏まえ、概ね妥当との環境保全上の知事意見を北陸電力（株）に平成9年2月17日に交付（電調審通過：3月27日）
- 平成7年12月3日  
九十九湾でジュズサンゴ群集の発見
- 平成8年2月17日  
原子力発電所の耐震安全性に係る県民説明会開催
- 平成8年3月29日  
医王山県立自然公園の指定
- 平成8年4月1日  
環境部を環境安全部に改称
- 平成8年5月14日  
志賀原子力発電所1号機で3月頃から原子炉冷却材再循環ポンプの軸封部のシール水出口流量の漸減の傾向等が認められたが、回復傾向が認められないため原子炉を手動停止したトラブルが発生、北陸電力（株）では、その後原因を特定し、復旧及び再発防止対策工事を実施した後、5月24日から運転を再開
- 平成8年8月18日

第8回自然に親しむつどいを富来町で開催  
平成8年8月24日、25日  
いしかわ・かんきょうフェアを開催  
平成8年11月19日  
中国江蘇省南京市において石川県・江蘇省環境保全技術シンポジウムを開催  
平成8年12月  
「石川県分別収集促進計画」策定  
平成9年1月8日  
1月2日に発生したロシアタンカー沈没・油流出事故による重油が加賀市片野海岸に漂着。  
その後県内7市11町の沿岸に漂着  
平成9年2月21日  
「石川県環境基本計画」策定  
平成9年3月31日  
「第5次石川県産業廃棄物処理計画」策定  
  
平成9年5月13日  
いしかわ環境パートナーシップ県民会議設立  
平成9年8月10日  
第9回自然に親しむつどいを尾口村で開催  
平成9年8月26日、27日  
中国江蘇省南京市において石川県・江蘇省環境教育研究会を開催  
平成9年10月4日、5日  
いしかわ・かんきょうフェアを開催  
平成9年10月25日  
白山シンポジウム「白山の野生動物保護の未来を語る」を尾口村で開催  
平成9年11月27日、28日  
中国江蘇省無錫市において第1回生活排水対策技術検討会を開催  
平成10年1月10日  
志賀原子力発電所1号機で復水器細管漏えいに伴い、原子炉を手動停止したトラブルが発生、北陸電力(株)では、その後原因を特定し、復旧及び再発防止対策を実施した後、3月20日に原子炉を起動  
平成10年1月24日  
生物多様性シンポジウム・イン石川を開催  
平成10年3月17日、18日  
中国江蘇省南京市において第2回生活排水対策技術検討会を開催  
平成10年3月

「石川県地球温暖化防止地域推進行動計画」策定  
平成10年3月  
「リサイクル型社会構築行動計画」策定  
  
平成10年4月7日  
リサイクル推進室を設置  
平成10年8月9日  
第10回自然に親しむつどいを輪島市で開催  
平成10年8月22日、23日  
いしかわクールアースフェアを開催(いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援)  
平成10年8月28日  
志賀原子力発電所準備工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力(株)との間で締結、9月1日より工事着手  
平成10年9月12日～14日  
国際海洋年記念フォーラム・イン石川を内浦町で開催  
平成10年9月  
「石川県リサイクル製品認定制度」創設  
平成10年10月16日  
志賀原子力発電所2号機増設に係る第2次公開ヒアリングを原子力安全委員会の主催で志賀町で開催  
平成10年10月20日、21日  
第2回石川県・江蘇省環境教育研究会を金沢市で開催  
平成10年10月20日  
第3回生活排水対策技術検討会を金沢市で開催  
平成11年3月  
「石川県ごみ処理の広域化計画」を策定  
平成11年3月2日  
中国江蘇省南京市において第4回生活排水対策技術検討会を開催  
平成11年3月19日  
「石川県環境影響評価条例」公布  
  
平成11年4月1日  
廃棄物処理センター設立準備室を産業廃棄物処理対策室に改称

- 平成11年4月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（金沢市、野々市町、内灘町）
- 平成11年5月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正（小松市、輪島市、羽咋市、松任市、根上町、川北町、美川町、野々市町、内灘町、志雄町、能都町）
- 平成11年6月14日  
志賀原子力発電所第5回定期検査中に、非常用ディーゼル発電設備B号機のディーゼルエンジンクランク軸にひびが認められた。直ちに原因を特定し、新品に取り替えるとともに、今後の対応についても取決め、7月23日から運転を再開
- 平成11年8月3日  
石川県原子力環境安全管理協議会における北陸電力（株）との協議を踏まえ、8月3日に2号機増設について了解
- 平成11年8月26日  
志賀原子力発電所2号機建設工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）と締結。北陸電力（株）は、国の工事計画認可を得て、9月2日建設工事に着工
- 平成11年9月30日  
石川県野鳥園を廃止
- 平成11年9月30日  
茨城県東海村の（株）ジェー・シー・オー・ウラン燃料加工工場で臨界事故が発生。県では、この事故を受け、環境放射線観測局の増設及びオフサイトセンターの建設等、放射線監視及び原子力防災を更に強化
- 平成11年10月16日、17日  
いしかわクールアースフェアを開催（いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
- 平成11年11月22日  
国際環境保全技術検討会を金沢市で開催
- 平成12年3月  
「環境にやさしい石川創造計画」を策定
- 平成12年4月1日  
リサイクル推進室をグリーン化推進室に改称  
産業廃棄物処理対策室を廃棄物処理対策事業推進室に改称
- 平成12年5月20日  
医王山ビジターセンター（金沢市）オープン
- 平成12年5月28日  
中宮展示館（吉野谷村）リニューアルオープン
- 平成12年6月28日  
白山国立公園センター（白峰村）オープン
- 平成12年8月19日、20日  
いしかわ・かんきょうフェアを開催（いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
- 平成12年11月10日～12日  
環境教育ミーティング中部2000inいしかわ白峰村で開催
- 平成12年12月22日  
石川県原子力環境安全管理協議会における北陸電力（株）との協議を踏まえ、12月22日に1号機の「9×9燃料の採用」等の原子炉施設の変更について了解
- 平成13年3月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、松任市、山中町、寺井町、川北町、美川町、鶴来町、津幡町、富来町、志雄町、志賀町、押水町、鳥屋町、中島町、能都町、柳田村）
- 平成13年4月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正（七尾市、加賀市、寺井町、鶴来町、津幡町、富来町、志賀町、押水町、鳥屋町、中島町、柳田村）  
「社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議」を設立するとともに、環境保全活動の拠点となる「県民エコステーション」を開設
- 平成13年4月2日  
いしかわ自然学校を本格開校し、県民エコステーションに事務局を設置
- 平成13年8月25日、26日  
いしかわ環境フェア2001を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
- 平成13年10月23日  
江蘇省から環境保全の訪問団を招聘し、第1回日中環境保全技術検討会を開催

平成14年1月9日  
「石川県志賀オフサイトセンター」が、国からオフサイトセンターとして指定

平成14年3月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定（輪島市、珠洲市、根上町、辰口町、高松町、七塚町、宇ノ気町、田鶴浜町、鹿島町、能登島町、鹿西町、穴水町、門前町、内浦町）類型指定の改正（金沢市、野々市町）

平成14年3月16日  
特定鳥獣保護管理計画の策定

平成14年3月29日  
「石川県ゼロエミッション行動計画」を策定（3月25日石川県環境審議会から答申）

平成14年4月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正（金沢市、輪島市、珠洲市、根上町、辰口町、野々市町、高松町、宇ノ気町、田鶴浜町、鹿島町、能登島町、鹿西町、穴水町、門前町、内浦町）産業廃棄物の監視指導体制の充実

（県内の産業廃棄物の排出事業者、処理事業者等に対して監視指導等を行い適正処理の推進を図るため、能登中部保健福祉センター及び南加賀保健福祉センターに「産業廃棄物監視機動班」を配置）

平成14年4月2日  
平成14年1月14日から志賀原子力発電所1号機の定期検査（第7回）が行われていたが、調整運転段階で原子炉冷却材再循環ポンプA号機の軸振動値に変動が認められたため、4月2日念のため原子炉を停止し、点検が行われた。なお、定期検査は4月26日に終了

平成14年4月21日  
里山保全ワーキングホリデイを推進するため、奥卯辰山健民公園、夕日寺健民自然園等において里山フェスティバルを開催。ゲストに今森光彦氏を迎え、金沢大学林学長、谷本知事も出席

平成14年6月26日  
江蘇省から環境保全の訪問団を招聘し、第2回日中環境保全技術検討会を開催

平成14年7月1日  
「社団法人いしかわ環境パートナーシップ県

民会議」を「石川県地球温暖化防止活動推進センター」に指定

平成14年8月3日  
白山緑のダイヤモンド計画で改修整備を進めていた白山室堂センターをはじめとする、室堂地区の施設がリニューアルオープンしたことにより、「白山国立公園指定40周年・室堂リニューアルオープン記念式典」を室堂で開催。谷本知事も出席

平成14年8月25日、26日  
いしかわ環境フェア2002を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成14年9月11日～平成15年11月27日  
石川県環境審議会において、環境総合条例（仮称）の在り方について審議（諮問 平成14年9月11日、答申 平成15年12月15日）

「環境総合条例（仮称）」は「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」として平成16年4月1日に施行

【審議経過】

平成14年 9月 11日	石川県環境審議会総会
平成14年 10月 10日	石川県環境審議会企画部会
平成14年 10月 16日	石川県環境審議会企画部会専門委員会（第1回）
平成14年 11月 12日	同（第2回）
平成14年 12月 14日	環境総合条例（仮称）策定のためのワークショップを開催（県主催）
平成14年 12月 18日～平成15年6月11日	石川県環境審議会企画部会専門委員会（第3回～第9回）
平成15年 7月 17日	石川県環境審議会企画部会
平成15年 7月 28日	石川県環境審議会総会
平成15年 8月 1日	「中間とりまとめ」を公表
平成15年 8月 13日～9月16日	「中間とりまとめ」に関するパブリックコメントの募集
平成15年 8月 20日～8月26日	県内4箇所においてタウンミーティングを開催
平成15年 10月 7日	石川県環境審議会企画部会専門委員会（第10回）
平成15年 10月 29日	石川県環境審議会企画部会
平成15年 11月 27日	石川県環境審議会総会
平成15年 12月 15日	環境審議会から知事に答申

- 平成15年3月10日  
内灘町以北の24市町村を広域エリアとして平成12年5月に設立した「石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合」が県の協力のもと建設を進めてきた「石川北部RDFセンター」が完成し本格稼働を開始
- 平成15年3月31日  
グリーン化推進室を廃止  
廃棄物処理対策事業推進室を廃止
- 平成15年4月1日  
組織の変更 環境整備課 廃棄物対策課  
資源循環推進室の創設、水環境創造室の創設  
石川中央保健福祉センターに産業廃棄物監視機動班を配置
- 平成15年5月14日  
産業廃棄物の不法投棄、不適正処理に対する初動体制の迅速化を図るため、産業廃棄物処理施設への立入検査権限を市町村職員にも与える県職員併任制度をスタート
- 平成15年6月1日  
いしかわ自然学校インストラクタースクール開校
- 平成15年7月17日  
志賀原子力発電所における県・地元町への連絡基準に係る覚書を県、志賀町、富来町及び北陸電力(株)との間で締結
- 平成15年8月30日、31日  
いしかわ環境フェア2003を開催(社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援)
- 平成15年10月15日  
石川北部RDFセンターのNo.2RDF貯蔵サイロで異常発熱事故が発生  
一旦、サイロ内のRDFを全て払出した後、安全対策を講じ、12月22日から貯蔵サイロにRDFの投入を再開
- 平成15年10月17日  
日中平和友好条約締結25周年記念事業の一環として、石川県 江蘇省環境教育シンポジウムを中国江蘇省南京市において開催
- 平成15年11月1日  
七ツ島を国が鳥獣保護区特別保護地区に指定
- 平成15年12月17日～平成16年3月24日  
今後のRDF化事業全体の安全対策を改めて確立するため、昨年12月に石川北部RDF広域処理組合と共同して、大学や国の研究機関、行政機関等のメンバーで構成する「RDF事故防止対策評価委員会」を立上げ、計4回の評価委員会を開催
- 平成16年2月4日  
中国江蘇省、韓国全羅北道から環境保全の訪問団を招聘し、日中韓環境協力トライアングル事業を開催
- 平成16年2月18日  
県庁舎において環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得
- 平成16年3月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定の改正(小松市、松任市、美川町、野々市町、内灘町、鳥屋町)
- 平成16年3月23日  
ふるさと石川の環境を守り育てる条例(石川県条例第16号)公布
- 平成16年4月1日  
ふるさと石川の環境を守り育てる条例施行、同条例施行規則公布、施行
- 平成16年4月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正(小松市、松任市、美川町、野々市町、内灘町、鳥屋町)
- 平成16年4月1日  
ゼロエミッション行動計画の具体的な施策を検討するなど、企画・立案部門検討する体制の強化を図るため、廃棄物対策課内の「一般廃棄物係」を「資源循環推進室」に統合
- 平成16年4月1日  
能登北部保健福祉センターに産業廃棄物監視機動班を配置
- 平成16年5月17日  
別当谷の土石流により、白山別当出合吊橋が流失
- 平成16年6月11日  
志賀原子力発電所1号機取替用燃料(92体)搬入
- 平成16年7月14日  
のと海洋ふれあいセンター「海の体験館」開館

平成16年7月24日  
白山別当出合吊橋開通

平成16年8月21日、22日  
いしかわ環境フェア2004を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成16年9月～11月  
津幡町以南の県南部地域に多数のツキノワグマが市街地集落に出没し、5月1日以降の捕獲数が166頭となる。  
12月1日から2月15日までツキノワグマの狩猟を禁止措置とした。

平成16年9月～11月  
金沢市西部クリーンセンター新工場の環境影響評価方法書について審査

平成16年9月29日、11月2日、12月2日  
志賀原子力発電所2号機初装荷燃料(計888体)搬入

平成16年11月19日  
中国江蘇省、韓国全羅北道から環境保全の訪問団を招聘し、日中韓環境協カトライアングル事業を開催

平成16年12月1日～平成17年3月16日  
石川県環境審議会において、「石川県環境総合計画(案)」について審議  
(諮問 平成17年12月1日、答申 平成17年3月22日)  
平成17年3月29日、「石川県環境総合計画」を策定

【審議経過】	
平成16年 12月 1日	石川県環境審議会総会
平成16年 12月18日～12月24日	県内4箇所においてタウンミーティングを開催(県主催)
平成16年 12月6日～12月28日	パブリックコメントの募集
平成17年 1月 28日	石川県環境審議会総会企画計画部会
平成17年 2月 28日	石川県環境審議会総会企画計画部会
平成17年 3月 16日	石川県環境審議会総会
平成17年 3月 22日	環境審議会から知事に答申

平成17年1月7日

石川県ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱の一部を改正。

平成17年2月10日  
石川県におけるダイオキシン・環境ホルモン等科学物質問題に係る取り組み方針の一部改正

平成17年3月11日  
石川県大気汚染緊急時対策実施要綱を改正し、七尾市、羽咋郡以南の全市町を大気汚染緊急時の発令地域とした。

平成17年3月  
七尾系大気監視測定局の接続をISDN回線に変更。

平成17年3月31日  
石川県指定希少野生動植物種として4種(トミヨ、イカリモンハンミョウ、シャープゲンゴロウモドキ、ウミミドリ)を指定。(施行5月1日)

平成17年4月1日  
水環境創造室を廃止し、浄化槽、下水道、集落排水の生活排水処理施設整備事業と水環境関連事業を一元管理するため、水環境創造課を設置

平成17年4月1日  
羽咋市内の地滑りによる送電線鉄塔倒壊による志賀原子力発電所1号機原子炉停止

平成17年4月26日  
志賀原子力発電所2号機試運転開始(原子炉へ888体の燃料装荷開始)

平成17年4月27日  
北陸新幹線富山県境・金沢間のフル規格化、金沢・白山総合車両基地(仮称)間の工事認可

平成17年8月20日、21日  
いしかわ環境フェア2005を開催(社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援)

平成17年10月～11月  
新廃棄物埋立場建設事業に係る環境影響評価方法書について審議

平成17年10月18日  
中国江蘇省、韓国全羅北道から環境保全の訪問団を招聘し、日中韓環境協カトライアングル

ル事業を開催  
平成17年11月30日  
本庁舎の環境マネジメントシステム（ISO14001）の適用範囲に保健環境センター及び工業試験場を統合した認証更新を行い、一体的・効率的な運用を図ることとした。

平成17年12月1日  
ふるさと石川の環境を守り育てる条例を一部改正し、大気汚染防止法が適用されない小規模建築物の解体工事について規制。

平成18年3月1日  
大気汚染防止法が改正され、ふるさと環境条例の石綿粉じん排出等作業の届出が不要になり、大気汚染防止法で届出。

平成18年3月15日  
北陸電力（株）が志賀原子力発電所2号機の営業運転開始

平成18年3月20日  
「石川県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画」を策定

平成18年3月22日  
石川県指定希少野生動植物種として5種（チュウヒ、ホトケドジョウ、マルコガタノゲンゴロウ、オキナグサ、エチゼンダイモンジソウ）を指定。（施行5月1日）

平成18年3月27日  
石綿による健康被害の救済に関する法律が施行され、既存の法律で救済されないアスベストの健康被害者の救済開始。

平成18年4月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（金沢市、七尾市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町）

平成18年4月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正（七尾市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町）

平成18年4月1日  
石川県大気汚染緊急時対策実施要綱を改正し、揮発性有機化合物排出施設を緊急時の協力対象とした。

平成18年4月10日  
資源循環推進室を廃止

平成18年4月11日

循環型社会推進室を創設  
平成18年5月23日  
中国江蘇省南京市において、江蘇省、韓国全羅北道との日中韓環境協力トライアングル事業を実施

平成18年7月5日  
原子力安全・保安院からの指示によるタービン羽根点検のため志賀原子力発電所2号機原子炉停止

平成18年7月18日  
志賀原子力発電所2号機、タービン羽根にひび割れ確認（最終的に840枚のうち258枚にひび割れ等確認）

平成18年8月19、20日  
いしかわ環境フェア2006を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成18年9月4日～10日  
県民エコライフ大作戦（第1回）実施

平成18年10月5日  
ツキノワグマ大量出没警戒情報を発表。5月1日以降12月末日までの出没情報件数は333件、捕獲数は78頭となる。

平成18年10月28日  
日中韓環境教育シンポジウムを開催

平成18年11月7日  
志賀原子力発電所1号機、発電機付属設備に記録用紙が吸い込まれたことから点検のため、運転を停止。（11月22日運転を再開）

平成19年2月1日  
志賀原子力発電所2号機、第1回目の定期検査開始。併せて安全対策の総点検を実施。

平成19年2月8日  
環境連携活動交流フォーラムを開催

平成19年3月15日  
志賀原子力発電所1号機において、平成11年第5回定期検査中に、制御棒引きぬけによる臨界事故が起きていたことが判明。国、県、志賀町は直ちに、原子炉を停止し、徹底的な原因究明と抜本的な再発防止対策の策定を指示。

平成19年3月25日  
能登半島地震が発生。石川県災害対策本部設置。26日から災害廃棄物の分別・処理指導のため職員を現地に派遣。27日以降県内外の自治体、団体等からごみ収集車両の派遣や人的

支援等があった。

平成19年4月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（白山市、野々市町、中能登町）

平成19年4月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正（白山市、中能登町）

平成19年4月1日  
悪臭指定地域の一部改正（宝達志水町）

平成19年4月2日  
いしかわ環境情報交流サイトの運用を開始

平成19年4月19日  
能登半島地震に係る詳細な地震記録及び志賀原子力発電所の耐震安全性の確認結果を原子力安全・保安院へ報告。地震後の点検結果、安全上問題となる異常はなかった。

平成19年4月25日  
石川県能登半島地震復旧・復興本部会議を設置、本格的復興に取り組み始める。

平成19年5月～9月  
能登半島地震に伴い、輪島市、穴水町で大気調査

平成19年5月17日～22日  
小松基地で最初の在日米軍再編に伴う訓練移転が実施される。

平成19年5月21日  
北陸電力は、28項目からなる再発防止対策の具体的な行動計画を策定

平成19年6月2日、3日  
エコステーションまつりを開催（県民エコステーションまつり実行委員会主催、石川県共催）

平成19年6月27日  
レジ袋削減協定を締結（12社、108店舗）

平成19年6月29日  
北陸電力は、原子力本部を志賀町に、地域共生本部を金沢市に設置

平成19年7月6日  
国は、能登半島地震での災害廃棄物の量を約43万トンと推計、約39億円の災害等廃棄物処理事業費補助金を内示

平成19年8月25日、26日  
いしかわ環境フェア2007を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催・

石川県後援）

平成19年8月27日  
原子力安全・保安院は、能登半島地震に対して志賀原子力発電所の耐震安全性は確保されていることを確認

平成19年9月9日、23日、30日  
エコドライブ教室を開催（主催：石川県 協力：東部自動車学校、加南自動車学校、七尾自動車学校）

平成19年9月10日～16日  
県民エコライフ大作戦（第2回）を実施

平成19年9月25日  
石川県指定希少野生動植物として6種（コアジサシ、イソコモリグモ、サドククルマユリ、トキソウ、サギソウ、イソスミレ）を指定（施行11月1日）

平成19年10月26日  
全国大気汚染防止連絡協議会第53回全国大会を開催

平成19年10月27日  
夕日寺健民自然園にて里山ふるさと館オープン記念行事を開催。第4回いしかわ自然学校まつりも併催

平成19年11月18日  
いしかわ自然学校が、全国初のネットワーク型の自然学校等として「第3回エコツーリズム大賞」優秀賞を受賞

平成19年12月7日  
新幹線鉄道騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域を指定（金沢市、白山市、野々市町、津幡町）

平成20年1月  
いしかわ事業者版環境ISO募集開始

平成20年3月14日  
原子力安全・保安院は、臨界事故に係る再発防止対策の実施状況・内容が妥当と評価  
北陸電力は、2号機の再起動を申し入れ

平成20年3月21日  
県は、2号機の再起動を了承

平成20年3月31日  
能登半島地震被災自治体における災害等廃棄物処理事業完了

平成20年3月31日  
循環型社会推進室を廃止



平成20年4月1日  
地球温暖化対策室を創設

平成20年4月1日  
石川県ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱の一部を改正

平成20年4月2日  
北陸電力は、2号機の気体廃棄物処理系で水素濃度が上昇したことから、原因調査のため、原子炉を停止

平成20年5月1日  
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（小松市）

平成20年5月1日  
騒音、振動指定地域の一部改正（小松市）

平成20年5月9日  
北陸電力は、2号機の原子炉を起動

平成20年7月19日～21日  
県民エコライフ大作戦オープニングイベントを実施（場所：県庁19階展望ロビー）

平成20年7月21日～8月20日  
県民エコライフ大作戦（第3回）を実施

平成20年8月23日、24日  
いしかわ環境フェア2008を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成20年9月21日、23日、10月19日  
エコドライブ教室を開催（主催：石川県、協力：ドライビングスクール エクシール城東、こまつ自動車学校、太陽自動車学校）

平成20年10月23日、25日、26日  
いしかわ里山フェアを開催

平成20年11月27日  
レジ袋削減協定を締結（コンビニエンスストア1社、76店舗）

平成20年12月19日  
本県がトキの分散飼育実施地に決定

平成21年2月12日  
原子力安全・保安院は、北陸電力の2号機の耐震安全性に係る中間報告を妥当と評価

平成21年2月17日  
土壌汚染対策法第5条第1項に基づき、能美市湯谷町ホ18番1の一部ほかを指定区域に指定

平成21年2月18日

原子力安全委員会は、北陸電力の中間報告に対する原子力安全・保安院の評価を妥当とした

平成21年3月12日  
原子力安全・保安院は、1号機に対する特別な検査を終了

平成21年3月13日  
地域環境力向上フォーラムを開催（場所：県庁19階展望ロビー）

平成21年3月18日  
原子力安全・保安院は、再発防止対策が定着していると評価

平成21年3月19日  
北陸電力は、1号機の再起動を申し入れ

平成21年3月27日  
県は、1号機の再起動を了承

平成21年3月27日  
新たなレジ袋削減協定を締結（39社・組合、757店舗）

平成21年6月1日から、食品スーパー、ドラッグストア、クリーニング店でレジ袋無料配布中止決定